

すずき・あきひろ ●昭和51年1月生まれ。赤坂東野字麻ノ草在住。東白工業(株)勤務。趣味は海釣り。「初心忘るべからず」を心掛ける。

最近、ふと考えることがありません。それは、私が子どもだったころ、両親や祖父母に叱られたときに言われた言葉「昔はね、今よりもっと不便で、それはそれは苦労したんだよ」と。この「昔はね、〇〇だったんだよ」と、言われた子ども時代の私は、「そんな昔のことを引き合いに出して言われても時代が違うし、別にいいや」と右から左に聞き流していました。しかし、私が子どもを持つ親となり、叱るときについて言ってしまうのです。「お父さんが子どものころの昔はね」と、口癖のように。そんなときに、私は「あつ、両親たちと同じように叱っているな。もしや子どもはあのころの私のように右から左に聞き流していない

村民【随想】リレー — ①78

# 鈴木章弘さん

## 今も昔に

だろうか」などと思ってしまう。では、なぜ「昔はね」と言ってしまうのかと考えたら、それは私や両親たちが経験してきた確かな現実が過去にあり、そのなかで得た感動や教訓をどうにかして子どもに伝えたいのだからと。昔の話だつて大切で、きつと未来へ繋がるヒントがあるのです。時代の進歩はめざましく、早すぎてすぐ今も昔になるでしょう。でも、無理をしながら生きていくのではなく、もうちょっとゆっくり進むのでもいいかと思えます。昔を振り返りながら。だからゆっくりな鮫川村であつてほしいです。

次は、小松敏明さん(渡瀬字大戸中)にバトンタッチ！

### さめがわを 彩る集い 11

## 個人のペースで無理なく続けるボランティア



### たすけあいネット・さめがわ

清水国明会長/会員39名

たすけあいネット・さめがわは、地域の防災活動や緊急事態発生時の支援、また、被災地の復興支援や福祉活動を通して「たすけあいの精神」を養い、「支え合う村づくり」に貢献することを目的に活動しています。これまでに、被災地でのがれき撤去や傾聴、村内景勝地の美化活動などを行ってきました。以前から、ボランティアをしたいという思いを持ちながらも、手段が分からずできない人たちがいました。そこで、情報提供や窓口を一元化することで動きやすくなればと、設立に至りました。ボランティアは継続することが重要で、そのために個人のペースで無理なく続けていく必要があります。これからも、地域に根差し、できることは何でも取り組んでいきたいと意気込みを話してくれました。

# Book

## 図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します  
鮫川村図書館(村歴史民俗資料館内)  
☎49-3106

### 海賊と呼ばれた男 上・下 (百田尚樹著、講談社)

敗戦国日本、石油を武器に変えて世界と闘った男、出光興産の創業者・出水佐三をモデルにした歴史経済小説。自己のためではなく、社員のため、国のため、自分を信頼してくれる人を裏切らないという自らの信念を貫き通した男の生涯です。

### シルバー川柳

[(社)全国有料老人ホーム協会著、ポプラ社]

「誕生日ローソク吹いて立ちくらみ」。物忘れ、医者通い、ビミョーな夫婦関係、悩める老後は笑って過ごすのがイチバン!シニア世代を中心とした人生の達人たちによる傑作川柳88句です。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

## 俳句

木蓮や白き残して花見山 中井 恒峯  
放心に猫の優しき春うらら 黒田 寿香  
母命日と大きなおはぎ貫いけり 齋須 信子  
生き死にの行方も知らず徘徊す 土竜 庵  
春うらら八溝の麓ゲートボール 山本 恵子  
春嵐トタン屋根をば吹き飛ばす 北條素人坂  
下校時の道草覚えるつくしんぼ 前田 縫子  
溪芽吹く糸垂れる人ちらほらと 松本 精一  
村境過ぎれば桜花ざかり 鈴木 米子  
先駆けのイヌノフグリの瑠璃浄土 山本五十鈴

## 短歌

牡丹雪舞う露天風呂に入り肩に輪となる雪をたのしむ 鈴木イミ子  
八十路という齢を越え来て些かに決まるや思想の筆を走らす 前田 初  
十三参り孫の健康 賢くも育てと祈る 球鈴の音 佐藤 春枝  
初つばめしきりに鳴きて挨拶の軒場に匂うみどりの季節 矢吹 定子  
サボテンも棘を光らす季節なり内に孕ます小さな花芽 須藤 幸子  
食卓を賑わすものは旬の味 籠に満たしぬ初採りの菜を 水野 珠子  
生きてこそある愉しみの一つかな 訪ねてみたり久々の友 関根 瑞恵

畑にも出て耕せる力あり神のくれたる 幸せの基 溝井 清乃  
順応は生きてる故にあるものと謝して畑にゆけるか今日も 坂本 伊紀  
老いて尚 報えんものと思いつつ心にしるす善意の一つ 一平 子  
今何故か夢に出でくる凍み豆腐寒きに作りし夜なべの厳しき 石井 幸子  
庭に咲くクロッカスお茶目に揺れている私の心を読み取る如くに 須藤シツ工  
けたたまし百舌の音いずこ電線に尾羽ねを巧みにタクトの如し 松本 一郎  
トンネルの開通式は賑やかに花火や太鼓と園児も喜ぶ 前田喜三子  
巡り来る春を待ちつつ針仕事陽の差す縁側猫が寄り添う 藤田千代子  
雪残る土手に顔出す落のとう夕餉の卓に香漂わす 関根ハナヨ  
花便り放映されるも我が里は蕾の固くいつ咲くのやら 関根 富久  
すこやかに暮らせる日々が有り難く今朝も佛前に香焚き祈る 鷺野谷 満  
立ち込める花粉か黄砂か有害のPM2.5の郷野覆えぬ 板橋 源良  
古井戸を払い種初浸しおり今年の農のはじまりとなし 関根キヌ子  
住み慣れし故郷の我家は跡形も無く背高泡立草の中に沈んで 矢吹 一二  
風評に負けじと資材申し込む農魂鼓舞して仕事に前向き 北條 平



若者の広場 No.101

# Young Plaza

■今、夢中になっていることは何ですか？

「女子会」をやっています。最近では、母と2人でカフェに行っているいろいろな話をしたりしています。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

夏に美容師の国家試験を受けますが、それ以外にもメイクやエステなどの美容系の資格を取りたいと思います。将来は、実家の美容室を継いで母と一緒に癒しを与えられるような美容室にしていきたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

歩いて登下校する子どもが少なく、道路であまり人を見かけなくなりました。私が小さかったころよりも子どもが少なくなって、人口が減ったように感じます。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

今まであったものを整備したり磨いたりして、観光名所や人が集まれるような場所をつくってほしいです。下校した子どもたちが行きたいと思えるような遊び場や空間があればいいですね。

次は五十嵐彩未さん（赤坂中野字新宿在住）の予定です。

## 宗田亜美さん



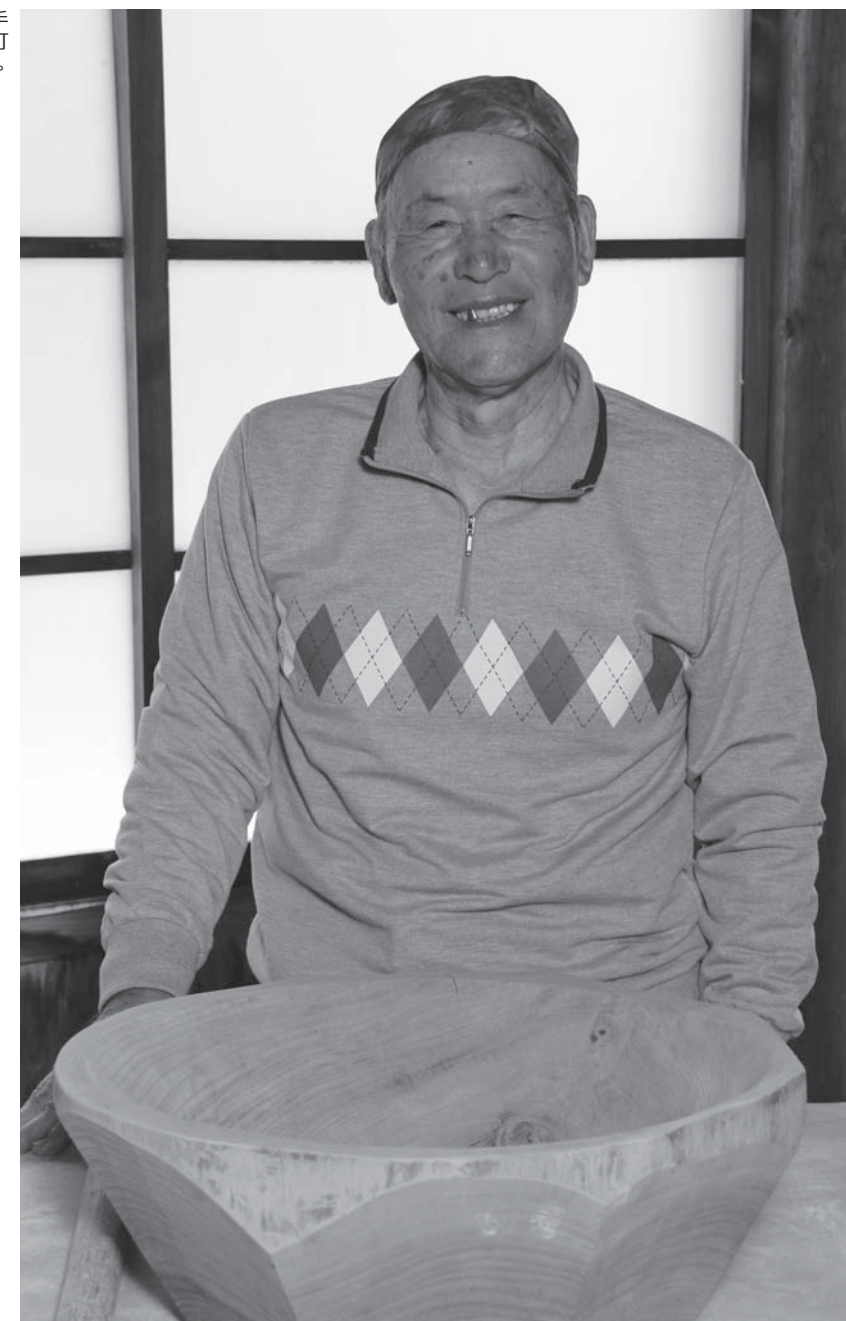
そうた・あみ  
平成5年3月21日生まれ 20歳  
B型 おひつじ座  
趣味は美容グッズ集め、ダイエット  
赤坂中野字宿ノ入在住

行きたいと思える遊び場や空間を

使い込んでいるのし棒とお手製のごね鉢。多くの人に手打ちうどんを振る舞っています。

### 既

製品とは違った味とコシを楽しめる「手打ちうどん」。都市との交流事業などで指導者を務めたこともある名人が矢吹一二さんです。五十代で本格的に始めたという一二さんは、本で基本を学び経験を重ねて加減をしながら技術を磨いてきました。作り方のポイントは主に三つ。一つ目は、生地を丁寧



踏むこと。踏み方が足りないとうどんで打つときに、麺が切れしまいがちです。二つ目は、大鍋に湯をたっぷり張り、よく沸騰させてから約二人前ずつ茹でること。そして、三つ目は茹でた麺を水で冷やし、きれいな水で洗うことです。このみ方でも味が変わるといいます。同じ材料と方法でも、打つ人によって味が変わると話す一二

さん。「うどんは形だけでなく、心で打つもんです。心が入っているかどうかで味が変わります」と、最も重要なポイントを教えてくださいました。さらに、「はじめての人でも楽しみながらでき、人と人との交流の機会にもなると思います」と、うどん打ち体験の指導をしたことで、新たな魅力に気付いたといいます。

## むらの名人・達人 Vol.10



東京からのツアー参加者にうどん打ちを教える一二さん。皆さん、笑顔が絶えません。

### うどん打ち名人 矢吹一二さん

やぶき・かずじ／赤坂西野字仁田在住／84歳

# 味とコシの決め手は心。うどんは形ではなく、心で打つ



入学おめでとう  
新入生2人を迎える集合写真



上・右…朝の清掃活動をする児童たち

(文・写真／青生野小学校)

## 学校だより

(103)

青生野小学校編

### 青生野小、2人が入学

平成二十五年度の青生野小学校は、長井友莉花さんと澤口楓佳さんの二人の入学を迎え十三名でのスタートです。四月八日の入学式では、自分の名前を呼ばれて二人とも元気いっぱい返事をするのができました。また、来賓の方々から心温まるお祝いの言葉をいただきました。今年度も地域の皆様に支えられ、がんばっていきます。

### 朝のボランティア活動開始

青生野小学校では、ボランティア活動の一環として全校生で朝の清掃活動をしています。青少年赤十字活動の奉仕の精神も取り入れ、みんなが玄関や廊下、階段をきれいにします。

五月三十日には、「530（ゴミゼロ）運動」と称し、今年度初めて通学路周辺のボランティア清掃も予定しています。周りをきれいにすると心も体もピッカピカ！気持ちよく生活できます。